

# 目標のV達成

## 前半は乱れても、後半に巻き返す

《女子の部優勝》

5オーバー、77

沖縄・北美小6年 呉屋 萌々子



【写真は優勝の呉屋(中央)と家族。㊦は九州ジュニア出場の兄・陽星】

参加 29 人中トップスタートで、そして初V。この日、呉屋は女子の部で最も楽しんだプレーヤーとなった。「前半はいっぱい打ったけど、後半は粘って、まとめられて良かった。優勝は目標でした」。優勝の儀式用に準備(?)していた兄・陽星のプレーザーをまもって、優しく微笑んだ。

1、2番でいきなり連続ボギー。6、7番でもスコアを崩し、アウトは40で折り返す。後半が始まる前、28 日から始まる九州ジュニアに出場する兄・陽星らにアドバイスを受け、インは1バーディー、2ボギーとスコアをまとめて37。最終的には、この後半の粘りが効いて、2位に1打差をつけてのフィニッシュとなった。

ゴルフは兄の影響で北美小1年から始めた。ドライバーの飛距離は「きれいに当たる」と200ヤード。

得意なクラブは7I。この武器で110～120ヤードを打ち分ける。好きなプロゴルファーは身長150cmの西村優奈。「背が高くないのに、アプローチなどがうまくて強い」。呉屋自身のサイズは145cm、37kgと大きい方ではない。プロの世界で活躍する西村に自身を重ねているのかもしれない。

全国小学生大会は昨年につき2度目。昨年は5年生ながら79で16位と健闘した。「うまい人と一緒に回って、ついて行こうと思ってプレーしたら、いいスコアが出た。今年はもっといっぱい練習して10位以内を」と更なる飛躍を目指す。

# 自分でも驚きの初優勝

## 唯一人のアンダーパー

《男子の部優勝》

1アンダー 71

鹿児島・清水小6年 下ノ堀 功太



【写真は優勝の下ノ堀(Ⓔから2人目)と家族】

下ノ堀が目を丸くした。「優勝はびっくりです。信じられません」。これまで出場した大会でベストスコアとなる1アンダー71。成績にも驚いたが、本番前日までは調子が最悪で、こんなスコアが出るとは本人も全く思っていなかったのだ。と言うのも、練習ラウンドでは80も叩いていた。一気に「9」も縮めたのだから、本人は頬をつねりたくもなる。

アウトは1バーディー、1ボギーの36、インは2バーディー、1ボギーの35。数字的には波の少ない安定した内容だ。アプローチとパッティングでスコアをまとめた。1パットパーが4ホールあり、3パットは1度もなかった。速いグリーンを想定しての練習が奏功。80を叩いての失敗から学び、それを実践に生かしたのである。

ゴルフは父の影響で清水小1年から始める。それ以前に5歳から空手にも励む。こちらの腕前は5級で、スポーツ少年団のキャプテンを務める。「空手のお陰で体幹も強くなり、腰を切るのにいい」とゴルフでの空手効果を上げた。

151cm、39kg。ドライバーの平均飛距離は210ヤード。全国小学生大会は初出場となる。「きょうみたくないいいプレーをしたい」。大好きという米国のプロ、ザンダー・シャプリー(シャウフェレ)のようなリズムのいいプレーで本戦に臨む。